

2011/12 年はコハクチョウ幼鳥率が低い年でした

2011 年の秋にハクチョウが飛来し始めたころから、ハクチョウの幼鳥の数が少ないのではないかという声が、各地のハクチョウ飛来地の皆さんから届きはじめました。ハクチョウの幼鳥はしだいに羽毛が白くなって成鳥と区別が付きにくくなるため、幼鳥率（全数に占める幼鳥の比率）を年ごとに比較するには、同じ時期に調査したデータを使用した方が正確な比較になります。そこで、毎年 1 月に記録された幼鳥率だけを取り出して比べてみると、オオハクチョウもコハクチョウも一昨年よりも昨年の幼鳥率が低かったことが分かりました。

1 月の調査記録が少ない年もあるため不正確な部分もありますが、あえて比較してみると、オオハクチョウは 2010/11 年の幼鳥率が高かっただけで、それほど 2011/12 年の幼鳥率が低いわけではないようです。一方のコハクチョウは過去にこれほど幼鳥率が低かった年はなく、昨年の幼鳥の少なさが突出している印象でした。

さらに昨冬はコハクチョウの主要な越冬地がある日本海側の積雪が深かったため、エサを十分に食べられなかった成鳥の栄養状態が低下していることが考えられます。このことが今年のコハクチョウの繁殖に悪影響を及ぼせば、来年もまたコハクチョウの幼鳥が少ない年になってしまうかもしれません。

オオハクチョウの幼鳥率					
調査年	成鳥の合計	幼鳥の合計	幼鳥率	カウント総数	調査地点数
2004/05	932	68	7%	1,000	5
2005/06	804	74	8%	878	10
2006/07	833	91	10%	924	11
2007/08	1,147	112	9%	1,259	3
2008/09	463	92	17%	555	5
2009/10	1,634	177	10%	1,811	10
2010/11	3,275	548	14%	3,823	19
2011/12	2,923	254	8%	3,177	22

コハクチョウの幼鳥率					
調査年	成鳥の合計	幼鳥の合計	幼鳥率	カウント総数	調査地点数
2004/05	108	50	32%	158	1
2005/06	416	77	16%	493	5
2006/07	1,430	219	13%	1,649	5
2007/08	198	38	16%	236	1
2008/09	5,747	530	8%	6,277	8
2009/10	1,403	299	18%	1,702	8
2010/11	10,097	1,261	11%	11,358	16
2011/12	17,163	1,114	6%	18,277	33

1 月のハクチョウ類の幼鳥率

幼鳥率は（幼鳥数／全個体数）で計算しています。同一調査地で 1 月中に複数回のカウントがされている場合は 1 回の平均値を使用しています。

カウント総数と調査地点数から考えて、サンプル数が比較的多い年の幼鳥率を黄緑色にしました。